

平成28年度 第3回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

開催日及び場所	平成29年2月16日 県庁11階第1・2会議室	
出席者氏名	島袋秀勝 平良あき子 古荘みわ 友知政樹 真喜屋治 榎本拓也 友利清和	
審議対象期間	平成28年8月1日 ~ 平成28年11月30日	
再苦情処理件数	件数 0件	
入札審議内容及び件数	建設工事	建設工事に係る測量、調査、設計及び工事監理業務
	総件数 421件	総件数 119件
①一般競争入札	169件	9件
②総合評価	77件	7件
③指名競争入札	149件	91件
④随意契約	26件	12件
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり (総質問件数 3件)	別紙のとおり
委員会による意見の具申の内容	なし	
その他の意見	特になし	

平成28年度 第3回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

意見・質問	回答
<p>Q 1 「那覇浄化センター2系最終沈殿地機械設備改修工事M16」について、耐用年数に達する前に予防保全として交換工事を行うものと考えているがどうか。</p>	<p>A 1 下水道施設を一気に取り替えることができないため、長寿命化計画を策定しそれに基づき優先順位をつけて交換工事を行っている。</p>
<p>Q 2 「那覇浄化センター2系最終沈殿地機械設備改修工事M16」について、最低制限価格を下回った応募者にヒアリング等を行っているのか。</p>	<p>A 2 建設工事の品質確保等を目的に、最低制限価格制度実施要領等を定めており、一般競争入札・指名競争入札の場合は、最低制限価格を下回った場合は失格とし、総合評価方式の場合は、低入札調査基準価格と言い、基準価格を下回った場合は資料等を提出いただき、ヒアリングを実施している。 本工事は一般競争入札のため、ヒアリングは実施していない。</p>
<p>Q 3 「沖縄県宜野湾浄化センター耐震診断業務」について、落札業者ありきで発注したのではないかと考えざるを得ない。</p>	<p>A 3 本業務は専門性の高い業務であり、他のコンサルタント業者（3者）からも、見積を取ったが、国の指針等に基づく耐震評価等のシミュレーションシステム等を開発する費用がかかる等の理由と思われるが、見積金額で落札者との差額が大きく、最も安価で受注する可能性のある落札者と随意契約を行った。</p>